



● 今月のご紹介者

朝日熱処理工業株式会社 代表取締役社長 織田 章宏 氏

『南極越冬記』

著 / 西堀 栄三郎 出版社 / 岩波新書



[概要]

1957年1月、氷雪と烈風の南極大陸に日本人として最初の越冬事業をなしとげた西堀栄三郎越冬隊長の日記。越冬中のメモのような日記から再構成したという本書は、生命をおびやかす厳しい自然のうちに生活した人間の三六五日々の、ありのままに切実に再現されている。

読者は、生々しい形で南極観測の意義と方法を知るとともに、一人の実践的な科学者の知性と勇気にふれて心に励ましを受けとることができる一冊となっている。

Q1：この本を手にとられたきっかけについて

大学時代、探検部に所属しておりました。洞窟探検、登山、沢登り、カヌーなど、部の活動は人によってさまざまですが、私は登山が好きでした。この本は同じく登山好きの先輩から、紹介していただきました。

Q2：この本をお薦めしたい理由について

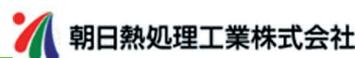
西堀氏は、南極地域観測隊・第一次越冬隊の隊長として、資材や情報が不十分な条件下でも、創意工夫で、さまざまなトラブルを乗り越えていきます。

「条件は未知なのである。新しい状況を、一つ一つさぐりながら、それに対処していかねばならぬ。そのためには、そういう準備がなければならぬ。最上の条件ばかりとはかぎらない。探検的なやり方というものはまず最悪の場合を考えて、その準備をし、その上にうまくいったときの準備を次第につみ重ねていくという、漸進

主義を必ずとらなければならないものである。」この箇所は、未知への対処法として、現在の状況にも通じるヒントとなる部分があるのではないかと思います。

Q3：どういった方にお薦めしたいですか

未知の困難に立ち向かうリーダーにお薦めです。過酷な状況において奮闘する隊長・西堀氏の思い、葛藤、その時々判断などが記されており、当時の緊迫感をそのまま感じる、貴重な一冊だと思います。



朝日熱処理工業株式会社

朝日熱処理工業 株式会社

本社：寝屋川市葛原2丁目9番1号

資本金：5,700万円

創業：1978年8月8日

従業員数：36人

事業内容：金属部品の熱処理、表面処理受託加工